



小中一貫教育校 日高市立高萩中学校

令和8年度 グランドデザイン

《日高市教育ビジョン》

「自らの力と人との絆で ^{みらい} 未来をつくる 日高の教育」

高萩小・中学校の目指す児童生徒像（15歳像）

ふるさとを愛し、生きていく力を育む萩っ子

夢をもち、豊かな学びができる子（知）

絆を大切にする子（徳）

明るく元気な子（体）



高萩小・中学校の目指す学校像

みんなで創る 笑顔あふれる おらが地域の学校



高萩小・中学校の学校教育目標

賢く

- ・夢を持ち挑戦する意志
- ・失敗を恐れず粘り強く学ぶ態度
- ・為すことによって学ぶ姿勢

優しく

- ・絆を大切にする意志
- ・他人を思いやり感謝する態度
- ・コミュニケーションを大切にする姿勢

逞しく

- ・自立した生活を送る意志
- ・健康と体力を増進する態度
- ・落ち着いた環境を整える姿勢



経営方針「すべての教育活動は子どもたちのために」

※迷ったときには「子どものためにどうあるべきか」という視点で判断する。



令和8年度の重点「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の更なる充実と発展」

開かれた学校づくり

- ①学校・家庭・地域三者による「私たちの子どもたち」という共通認識に立脚した全校生徒への支援
- ②学校運営協議会の充実（管理以外の教職員の協議会への参加）
- ③地域学校協働本部との連携・協力
- ④各種たより、ホームページによる積極的な広報活動及びメッセージ配信システム「LEBER」によるタイムリーな情報発信



確かな学力の育成

- ①「教えから学びへ」生徒たちの主体的な学びを実現するための授業改善
 - ・学習方略及び非認知能力の育成を重視した授業実践
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - ・ICTの効果的な活用
- ②基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - ・全校での補習（月1回）の実施
 - ・タイピング練習（年5回）の実施
- ③市の施策の活用
 - ・「英検対策講座」「海外留学擬似体験事業」「3年生対象英検3級検定料市費負担」を活用した英語力の向上



豊かな心の育成

- ①自他を大切にすることを育む教育活動の展開
 - ・温かな人間関係（生徒同士・教職員と生徒）を基盤とした教育活動の推進
 - ・生徒個々の実態に応じた、より柔軟で丁寧な組織的支援の充実
 - ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応のための組織的な取組の徹底
 - ・特別支援教育の充実
 - ・道徳教育、人権教育の充実
- ②積極的な生徒指導の充実
 - ・発達支持的生徒指導の確立
 - ・自己指導能力の獲得を支える際に留意する4視点を重視した教育活動の推進
- ③生徒と高萩小児童との異年齢交流の工夫
 - ・慈愛敬愛の精神、利他の心の醸成
 - ・非認知能力の育成
- ④市の主催事業等における生徒ボランティアの参加促進（地域への貢献）



健やかな体の育成

- ①健康の保持増進
 - ・学校保健安全計画に基づく保健教育、保健管理、学校保健関連行事等の充実
 - ・家庭との協力による望ましい生活習慣の定着
 - ・性に関する教育と薬物乱用防止教育の実施
- ②体力向上に向けた取組の推進
 - ・新体力テストの効果的な活用
 - ・第50回中学校体育授業研究会の成果・課題を生かした体育授業の充実
- ③安全教育の充実と危機管理の徹底
 - ・実践的・主体的な避難訓練等の実施
 - ・交通安全教育の実施
 - ・月例安全点検・日常点検の実施と修繕対応、毎授業日の施設の通気・換気の徹底



主体的に社会形成に参加する態度の育成

- ①ふるさと科の充実
 - ・「ふるさと科」における高萩小・中間の児童生徒交流の工夫
 - ・地域社会との関わりの中で、様々な課題を自分事として捉え、その解決に意見を表明する活動の実施
- ②特別活動の充実
 - ・学級活動、生徒会活動等における話し合い活動の充実による、生徒が主体となって自身が関わるルール等の制定や見直しの過程に参画する取組の推進
- ③進路指導・キャリア教育の推進
 - ・学年段階に応じた計画的な進路指導・キャリア教育の実施
 - ・生徒が適切な進路を主体的に選択するための進路指導体制の確立

信頼関係に立った教育活動の推進

- ①連絡を密にする
 - ・生徒同士のトラブル、けが・病気、事故、悪いこともよいことも
- ②最後まで誠意をもって
 - ・「見とどける」、「聴きとどける」、「対応する」
- ③来校者に明るい挨拶を。電話対応は丁寧に
- ④保護者、地域の役割を理解し、互いに連携協力して生徒を指導援助する関係を築いていく
 - ・保護者・地域の「思い・願い」を理解し、教師として謙虚な姿勢で



働き方改革の推進

- 子どもたちへのよりよい教育を実現するために—
- ①時間外在校等時間「月45時間以内、年360時間以内」
 - ・ICカードによる出退勤記録に基づく自身の働き方の把握
 - ・生徒最終下校時刻の繰上げ（最大17:30）
 - ・「ふれあいデー」、「リフレッシュウィーク」、「定時退勤ウィーク」の実施
 - ②「働きやすい、働きがいのある」職場環境づくり
 - ・年次有給休暇の確実な取得（年間最低5日以上、計画的な年休の取得）
 - ・週休日の振替や調整の確実な取得
 - ・ストレスチェック（年2回）の実施
 - ③「日高市立中学校・義務教育学校の部活動方針」の遵守

教職員の資質向上

- ①学校研究の推進（授業力の向上、教師力の充実）
 - ・高萩小の学校研究との連携
- ②校内研修の充実
- ③外部研修への積極的な参加
 - ・年次研修の充実
 - ・特定研修等への参加



よりよく「生きていく」とは、家族やお世話になった方々との絆を大切にしながら、将来の夢や希望の実現をめざし努力することであり、このような「萩っ子」を目指そうとする生徒、「萩っ子」を育もうとする教職員・保護者・地域住民が集う学校には、「笑顔」と「充実感」があふれてくる。